

## 2020年度 第1回 エヌ・シー・ティ放送番組審議会

1. 開催日時：2020年12月4日（金）12:00～14:40
2. 開催会場：エヌ・シー・ティ本社 3F 大会議室
3. 出席委員：6名（委員総数7名、うち欠席1名）

出席委員		放送事業者	
委員長	長尾 弘	今泉 道雄	代表取締役社長
委員	田村 栄一	若月 栄弥	常務取締役
委員	長谷川 和明	大久保 泰宏	取締役地域情報部長
委員	水内 智憲	野本 隆行	地域情報部次長
委員	ヨールグ・ビューラ	東條 真一	地域情報部課長
委員	石井 美紀	谷 将司	地域情報部係長

敬称略、順不同

### 4.開会挨拶

- 今年度は、コロナ感染拡大がすすむ中、一時業務縮小を図ったこともあり、ご利用世帯数がなかなか伸びない時期もあった。一方で、テレワークの進展等により、自宅での通信環境整備を求められるご家庭も多かったことから、夏場以降、徐々にご利用世帯数も増加、上期は概ね計画通りのお客様にサービス提供をすることができた。
- 番組制作においては、ほとんどのイベントが中止となる中、リピート放送や再編集番組でなんとか対応。また、①「おうちで平和祭」等、イベントに参加できない方々に向けたライブ配信や、②スポーツ観戦が制限されたことに対応した番組提供（アルビ BB の放送回数増加、高校野球県予選の1回戦から決勝までの放送等）を行うなど、新たな取り組みにもチャレンジした。
- コロナ禍の中でも、地域の皆様のご要望に一つ一つ丁寧に答えながら業務を進めているところ。本日は、NCT の取り組みにつき、皆様から忌憚のないご意見を頂戴したい。

### 5.議題

#### (1) 報告事項

- ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大への影響
- ✓ 各種まつり／イベント
- ✓ 各種スポーツ
- ✓ 開票速報
- ✓ スマホアプリ「NCT コネクト」関連
- ✓ 2021年度の改編計画

#### (2) 審議事項及び審議番組

- ✓ 「長岡花火応援番組～After2020 つなげよう、未来へ～（2020/8/3 放送）」
- ✓ 「実録八十里越 総集編（2020/9/15 放送）」

#### (3) その他

### 6.議事の概要

#### (1) 審議番組について

### ① 長岡花火応援番組について

- 関係者・市民・中継・アニメなど、構成に工夫が感じられた点が良かった。
- リポーターの佐藤さおりさんのしっとりした雰囲気、長谷川さんのおまつり感が好印象だった。
- 来年こそ、花火を見に行きたいと思える内容であった。
- コロナ禍だからこそ、という新しい切り口の番組だった。
- 集中してみるには、やや長く感じた。何かしながら見るにはちょうど良いのかもしれないが。
- 各種手段、Twitter 連動で県外の方が多く視聴していた。
- 佐藤さおりさんのハプニング（外での中継で髪に虫がとまった）にも動じず、素晴らしかった。
- FM ながおか佐野さんが花火に詳しく、花火師さんと盛り上げてくれた。
- （花火を）初めて見る方にはマニアックだったかもしれない。一般のゲストがいても良かったかもしれない。
- マニアックな内容だったゆえに、新しい情報が得られた。来年から花火の楽しみ方が変わる。
- 完成度の高い番組だった。他局の協力があったのかとも感じるレベルだった。
- 線香花火のシーンは、もっと画面が暗くても良かった。
- FM ながおかの協力が良かった。
- 毎年の花火中継は、他局のものよりも NCT のほうが断然良い、と思っている。
- 長岡空襲を体験した知人との思い出他、色々“思い出させる”番組であった。
- 長岡花火や三条花火の番組は、現場で観ることができなくなったものを観ることができて良い。
- 撮影場所（市民宅での線香花火等）の背景の映り込みにも配慮頂けると良い。
- 番組冒頭の提供読み上げの時間が長い。工夫の検討が必要。

### ② 実録八十里越について

- 新鮮な企画だった。
- ガイドの大竹さんの豊富な知識によって成立していた。
- ターゲットとしている視聴者はどのような層か？  
⇒【事務局】登山経験者、歴史好き等
- 八十里越という言葉は知っていたが、改めて知ることができた。
- 映画『峠』の公開時に、再放送するのも良い。
- 賛否両論あるだろうが、NCT だからこそできる番組だった。
- 地図や標高など、テロップの入れ方が上手かった。
- 無駄（がある）かもしれないが、無駄（がある）なものを楽しむのも良い。
- 三条市の八十里を取り上げていただきありがたい。大変勉強になった。
- 歴史解説など、別の切り口で画面の切替があれば、素人でも集中力を途切らせずに見ることができる。
- 登山に不慣れなスタッフの表情や疲れた姿も見せれば、どれだけ険しい道のりかが伝わるはず。
- 無音が数秒続くなど、音で気になったところがあった。無関係だが、余計なことを考えてしまう。
- 楽しくあっという間に終わった。60 年以上前に祖父から聞いた話や歴史上の事などに思いを巡らしながら観た。

### 7. 閉会挨拶

- 「実録八十里越」の制作は、一人の社員の熱い思いからスタートした。彼は故稲川明雄先生（NCT 顧問として番組制作にご協力いただいていた）担当として長く仕事をしてきた者。
- NHK 放送文化研究所の資料によると、60 代と比べ 20 代はテレビ視聴が著しく減り、テレビ以上に SNS、動画視聴、ゲームに時間を費やしている。NCT としては、若い層にも意義ある地域情報をお届けするために新たな取り組みを続けたい。

以上